

おみたま

子ども議員 22 名が 堂々と質問を行いました！



「第9回 小美玉市子ども議会」を開催

(12月25日、本庁舎3階 議場にて)

※質問内容等は、2月発行の市報に掲載されます。

12 月 定 例 会

新年のあいさつ、議案等の審議結果 (全 19 件) P 2-3

補正予算など 18 議案等を審査 (委員会QA) P 4-5

H28 年度の予算編成方針等を問う (一般質問) P 6-14

プレゼントクイズ、市民の声ほか P 15

3月定例会のお知らせ、編集後記ほか P 16

迎春



議長 市村 文男



副議長 笹目 雄一

明けましておめでとうございませう。平成二十八年の年頭に当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、議会運営につきまして、市民の皆様方の格別なご支援とご協力をいただきましたこと心から感謝を申し上げます。

今年、昨年末の市議会一般選挙で選出された二十名による議会構成となつて、初めての年を迎えました。私も議員一同、自らに課せられた使命を果たすべく、誠心誠意、取り組んでまいりますので、より一層のご指導ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

市議会では、議会基本条例が昨年四月一日に施行したことを踏まえ、更なる議会機能の向上を目指して、様々な議会改革に継続的に取り組んでおります。本条例では、議会活動の基本理念が「市民の負託に応えうる開かれた議論に基づく公平公正な議会を目指して」と掲げられ、開かれた議会、改革を推進していくことが力強く示されており、議会改革の今後の方向性を示しております。

こうした中、今年、昨年以上に、本条例の具体的運用を積極的に図るべく、調査研究に邁進していこうと考えております。

会議での執行部とのやりとりを明確にするための取組みを速やかに実施し、また、昨年の夏に議会として初めて開催した「議会報告会」についても、運営方法や内容を見つめ直し、更に充実させ開催してまいります。これらの取組みを通じて、市民に信頼される議会運営につなげていくことを願っております。

マインナバー制度の導入や地方創生の具体化などを受けて、今年には社会・経済の仕組みが大きく変わる転換期のように感じます。市民の皆様が暮らしにも少なからず、様々な変化が生じるものと思われませんが、今年一年がすばらしいものとなるよう、市民の皆様と力をあわせてすばらしいまちづくりを推進していけたらと考えております。結びになりますが、小美玉市の更なる発展と市民の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたします。新年のあいさついたします。



「明けまして おめでとうございませう」

(議席順)

野村 武勝
 荒川 一秀
 市村 文男
 戸田 見成
 大和田 智弘
 笹目 雄一
 関口 輝門
 大槻 良明
 小川 賢治
 藤井 敏生
 福島 ヤヨヒ
 岩本 好夫
 長島 幸男
 谷仲 和雄
 幡谷 好文
 石井 好旭
 植木 弘子
 木村 喜一
 鈴木 俊一
 村田 春樹

平成 27 年 第 4 回定例会

12月定例会は、12月1日から18日までの18日間の会期で開かれ、議員発議4件、条例改正等6件、補正予算6件、そのほか人事案件や財産取得を含む3件の全19件の審査を行いました。その内18件を全会一致で可決・同意し、陳情1件を継続審査としました。

補正予算は、一般会計と特別会計が計上され、一般会計補正予算は、子どものための教育・保育給付費負担金や土浦協同病院の移転新築支援を目的とした地域医療向上交付金等、5億618万1,000円を追加し、総額で244億2,655万5,000円となりました。

また、一般質問が8日・9日の2日間行われ、9議員が質問席に立ち、平成28年度の予算編成方針についてや、地方創生、高齢福祉対策、教育行政、防災行政などの各種事業の進捗状況など、さまざまな質問を行いました。

審議結果一覧（全19件）

■ 条例の制定・改正（6件）

94	小美玉市定住自立圏形成協定の議決に関する条例の制定		本市を含む県央地域の9自治体の定住自立圏形成協定に伴い、協定の締結、変更、廃止について議会の議決すべき事件として定めるため、新たに制定をするもの
95	小美玉市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定		農業委員会等に関する法律の改正に伴い、新たに制定するもの
96	小美玉市税条例等の一部を改正する条例		地方税法等の一部を改正する法律の施行ならびにマイナンバー法の適用条文の見直しに伴い、所要の改正を行うもの
97	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	国民健康保険税の減免申請期限について、納付者の利便性の向上を目的とした改正を行うとともに、「社会保障・税番号制度」いわゆるマイナンバー制度の運用に伴い、所要の改正を行うもの
98	介護保険条例の一部を改正する条例		介護保険料の減免申請期限について、納付者の利便性の向上を目的とした改正を行うとともに、「社会保障・税番号制度」いわゆるマイナンバー制度の運用に伴い、所要の改正を行うもの
99	小美玉市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例		児童福祉法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

■ 平成27年度補正予算（6件）

100	一般会計		[補正額]5億618万1千円 [補正後額]244億2,655万5千円
101	国民健康保険		保険給付費の療養諸費と高額療養費の組替えほか
102	下水道事業	可決	[補正額]657万5千円 [補正後額]16億1,155万9千円
103	農業集落排水事業	決	巴中部地区整備事業にかかる節内・節間を更正するもの
104	霊園事業		[補正額]△33万7千円 [補正後額]2,354万3千円
105	介護保険		[事業勘定][補正額]10万8千円 [補正後額]33億197万1千円

■ その他（1件）

106	財産の取得		江戸地内の道路整備事業用地を取得するため
-----	-------	--	----------------------

■ 人事案件（1件）

107	監査委員の選任につき同意を求めること	同意	前委員の退職に伴い、新たに小川賢治氏を監査委員に選任するため議会の同意を求めるもの
-----	--------------------	----	---

■ 陳情（1件）

7	小美玉市一般廃棄物処理計画策定に関する陳情書	継続	提出者：小美玉市一般廃棄物収集運搬業許可業者 3社
---	------------------------	----	---------------------------

■ 議員発議（4件）

10	広報特別委員会の設置		提案者：荒川一秀 賛成者：藤井敏生ほか5名
11	百里基地・茨城空港対策特別委員会の設置	可決	提案者：荒川一秀 賛成者：藤井敏生ほか5名
12	地方創生まちづくり特別委員会の設置	決	提案者：荒川一秀 賛成者：藤井敏生ほか5名
13	議会改革推進特別委員会の設置		提案者：荒川一秀 賛成者：藤井敏生ほか5名

委員会審査Q&A

各委員会に付託された18議案等を審査

本会議で付託された18件の議案等について、11日から15日にかけて、18日に行った各常任委員会で審査しました。各常任委員会での審査状況について、主な質疑応答の内容をお知らせします。

総務

務

(委員) 田島川口木田
大和 荒関 鈴木

小美玉市定住自立圏形成協定の議決に関する条例の制定

Q 本市は水戸を中心市とする県央地域に入るが、県内で中心市の要件を満たす市は何市あるのか？

A 政策調整課 水戸市、日立市、土浦市、常総市、つくば市、鹿嶋市、筑西市、神栖市の8市があります。

Q 8市のうち中心市の宣言を行っているのは？

A 現在、水戸市だけです。

Q 水戸市を中心に何市が参加しているのか？

A 水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村の9市町村です。

Q 県内の状況は？

A 平成26年1月に大子町が大田原市を中心とする栃木県、福島県の2市6町間で八溝山周辺地域定住自立圏形成協定を締結しています。

そのほか結城市が27年6月に中心宣言を行った栃木県の小山市、それから近隣の下野市の2市で現在、定住自立圏形成を目指しています。

*本条例は、定住自立圏形成協定の締結、変更、廃止にあたって、議会の議決すべき事件として定めるため上程されました。

平成27年度一般会計補正予算

Q 今回、3500万円の補正が組まれているが、その内容は？

A 小川総合支所 小川総合支所庁舎耐震補強工事を行うもので、工事施工に伴い新たに発見された老朽化の激しい部分の追加工事、防水工事、全面塗装、全体的な配管の改修工事

のほか、3階トイレの改修工事を行うものです。

Q 新たな改修箇所が発見されたのはいつか？

A 解体作業をしていく中で、平成27年10月ごろから徐々に現れてきました。

Q 今回の耐震補強工事でどのくらい持つようになるのか？

A 15年から20年は持つようになると思われます。

Q その期間に総合的な計画を練り、長期的な見解を出してもらいたい。



耐震化工事に伴いトイレも洋式化 (小川総合支所 1階)



文教福祉

(委員) 本 仲目川谷木村
岩 谷 笹 小幡 植木

小中学校空調設備の設置

Q 学校規模配置適正化事業対象外の学校である羽鳥小学校・納場小学校・美野里中学校と、対象であっても事業実施までに年数を要する野田小学校・上吉影小学校の空調設置をするとのことだが、一斉に設置するのか？

A 学校教育課 平成28年度、夏休み等を利用して全て設置する計画です。

Q 費用を7年間かけて支払うということだが、その理由は？

A 7年間にわたり毎月支払うことで、年度間の事業費のばらつきをなくし、平準化を図るためです。

羽鳥小学校体育館の耐震補強工事

Q 羽鳥小学校体育館の耐震補強工事期間と、その期間中の行事対応はどうするのか？

A 学校教育課 おおよそ1年間かかる予定であり、現在設計をしている状況なので、工事期間中の入学式や卒業式等については十分に学校と協議しながら進めていきます。



羽鳥小学校体育館

介護予防プランの作成

Q 予防プラン作成が増加傾向というのだが、具体的にはどのような介護予防のケースが増えているのか？

A 介護福祉課 認定審査で支援となった方が一人暮らしの場合などで、見守りができるサービスマンや、支援状態から介護状態にならないためのサービスを組み入れた予防プランの作成が増えています。

小美玉温泉ことびき

Q 待望のサウナが2月にオープンするというのだが、最近の入場者数は？

A 健康増進課 4月から11月末現在で、市内の方が4万8798人、市外の方が6156人で、昨年度と比べ既に2621人増加しています。

産業建設

(委員) 井槻村田島井
藤大野戸福石

農業委員会法の改正

Q 農業委員の選出方法は？

A 農業委員会事務局 今後は選挙ではなく議会の同意を得て市長が任命することになります。

Q 農業委員の選出までの流れと基準は？

A 今後、農業委員の推薦・公募を区長回覧・ホームページ等で実施し、応募者・推薦者の情報を整理し公表します。認定農業者が委員の過半数を占めなければならないこと、農業者以外の者で中立な立場で公平な判断ができる者を1人以上入れること、女性・青年も積極的に登用することなどを踏まえ、評価委員会を設置して審査し、3月議会で農業委員の任命について議会の同意をお願いしたいと考えています。

Q 農業委員とは別に新設される農地利用最適化推進委員とは？

A 担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消等の地域における現場活動を行います。推進委員の地区割り、報酬などは現在検討中のため、3月定例会で

説明したいと考えています。

Q 小美玉市の委員定数は？

A 今回提出の定数に関する条例において、農業委員24名、推進委員68名をそれぞれの上限とします。

Q 農業委員を任命する市長や評価委員の方は重責だと思うが、誰もが納得する任命をお願いしたい。

道路整備事業用地

Q 事業用地買収時の単価の設定はどのようにしているのか？

A 幹線道路推進課 山林・畑地・宅地など地目ごとに不動産鑑定を実施し、評価しています。



道路整備事業用地 (納場地内)

農業集落排水事業

Q 今後の事業展望は？

A 下水道課 納場北部、堅倉南部、巴南部、巴中部1期地区の4地区の整備が完了し、現在は平成29年度完成を目指して巴中部2期地区の整備をしているところです。

今後は、人口減少など社会情勢も鑑み、農業集落排水にするのか公共下水道を延伸するのか検討していきますのでご理解いただきたいと思っています。

12月定例会日程

日程 会議等の主な内容 傍聴

1日 本会議(開会、議会人事) 10名

2日 議会運営委員会(会期日程調整) -

3日 本会議(議案上程) 1名
広報特別委員会

8日 本会議(一般質問) 6名

9日 本会議(一般質問、質疑、討論、委員会付託) 6名

11日 総務常任委員会 -

14日 文教福祉常任委員会
地方創生まちづくり特別委員会 -

15日 産業建設常任委員会 -

17日 広報特別委員会
議会改革推進特別委員会 -

18日 議会運営委員会
総務常任委員会
本会議(討論、採決、閉会) 1名



藤井 敏生

市民に潤いのある施策を

健全財政に努めながら施策実現を図る

Q 平成28年度予算編成の進捗状況は

来年度の予算編成作業も大詰めを迎えているが、現在の進捗状況とその内容について伺う。

A 企画財政部長 市総合計画を根幹とした各種重点施策が実現でき

るよう予算編成を行っているが、収支バランス状況の見直しは扶助費、物件費、公債費などの歳出が年々増加傾向であるのに対し、歳入面では大幅増を見込みづらい市税のほか、徐々に一本算定に移行していく普通交付税の状況を踏まえると歳入不足額がより大きくなるものと想定している。

この歳入不足を補うため財政調整基金等の繰り入れを想定しているが、この基金は調整機能を担うため、ある程度の額は保持する必要があるため、予算編成段階では歳出予算の一般財源配分額の抑制策をとりつつ、歳入不足を抑えていきたいと考えている。

Q マイナンバー制度の課題は

いよいよナンバーカードの個別通知が始まったが、現在の配布状況と想定されるトラブル等も含め今後の課題について伺う。

A 市長公室長 通知カードは、本市に住民票のある全ての方を対象に、世帯ごとに簡易書留で送付したが、総配布数2万449通のうち全体の8・8%に当たる1803通が市民課に返送されてきた(12月7日現在)。そのうち宛先不明が442通、受取人不在で郵便局の保管期間である7日間を過ぎたものが1354通、受け取り拒否が7通あった。

今後、市民課での確認作業の後、案内通知を順次発送するので、取り替え期間3カ月内に、本人または代理の方に通知を受け取っていただきたいと考えている。

今後の課題としては、この制度導入の課題の一つである国民の利便性の向上の実現にあたり個人番号カードの普及とサービスの拡大が鍵となるため、カードの交付を受けたらと思うような市独自の利用法を検討することや、詐欺を未

然に防ぐための丁寧な広報と説明を行い、セキュリティ対策に万全を期すことと考えている。

Q. 1月から利用が始まるマイナンバーは、会社にも提出するって本当ですか？

A. 税や社会保障の手続で、勤務先にも提示が必要になります。アルバイトやパートの方も必要です。

Q. 通知を受け取っていないんですが…私の「通知カード」、どうなりますか？

A. 初期のお届けは、遅くとも12月20日頃までには終える見込みです。1週間ほどお留守で保管しますので、郵便局からの不在通知をご確認の上、再配達などで受け取ってください。その他は各市区町村で保管しますので、各自の届先にご連絡をお願いします。

Q. 「個人番号カード」って、どうすれば入手できるんですか？

A. 「通知カード」に封入されている「個人番号カード交付申請書」に署名を記入し、郵便局で届出してください。スマートフォン等を利用した申請もできます。〇利用証明に送付する交付通知書(ひたし)をお持ちになり、市区町村の窓口で交付を受けてください。交付は無料です。

お届けした「通知カード」は、ご家族で封筒の中身の確認を!

大塚市の利にお知らせ!

マイナンバーのお問合せは **0120-95-0178**

マイナンバー総合フリーダイヤル(無料) ☎ 0120-95-0178
平日 午前 9:00～22:00 土曜 午前 9:00～17:30 (年末年始を除く)

マイナンバー 検索

平成28年1月から利用スタート!

1人に1つ、マイナンバー



谷 仲 和 雄

平成28年度予算編成方針は

決算を見据えた通年予算と一般財源抑制

Q 平成28年度予算編成方針は
住民福祉の向上と地域の発展に繋がられるよう限られた財源の有効活用が求められる。平成28年度予算編成方針を問う。

A 企画財政部長 決算を見据え通年予算での編成を進めている。また、平成28年度から普通交付税が一本算定に移行する縮減期間に入るのに伴い、財政調整基金からの繰り入れを抑制するため平成27年度予算編成に引き続き、一般財源抑制策を行う。

国庫補助金や交付税措置割合の高い地方債を活用しつつ、年次計画のもと事業の推進を図る。

Q 行財政改革第3次の展開は
来年度から第3次行財政改革に入るが、今後、公共施設等の方針についての論議は必要、行財政改革第3次の展開を問う。

A 企画財政部長 第3次行財政改革大綱(案)では、社会変化に対応し質・量ともに最適な公共サービスの迅速化を目指し、市民との協働による行政経営の更なる推進を基本目標としている。公共施設のあり方は

重要課題であり、長期的な視点を持つて更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減、平準化や公共施設の最適な配置の実現を目指すとともに、指定管理者制度などの民間活力の導入を図っていく。

Q 通学路の安全対策は
点検を含めた通学路の安全対策について問う。

A 教育部長 市交通通学路安全対策連絡会議による通学路の緊急合同点検結果を踏まえ、市、県、警察、学校などの実施主体において具体的な安全対策87対策のうち43対策が実施済み。主な改善は信号機設置5カ所、横断歩道の設置3カ所、ボランティアによる立哨8カ所、区画線の設置4カ所、樹木の剪定等6カ所。

また、平成27年3月に市交通安全プログラムを策定、関連機関連携のもと継続的な安全対策を実施していく。事務局として教育委員会が中心的な役割を担っており、各機関との調整、あるいは要望プログラムの進行管理を中心となつて進めていく。

Q 認定外道路での危険箇所対応は
A 都市建設部長 通行上危険で急を要する補修事業が発生した場合は地元区長さん方と相談していく。

Q 市版総合戦略のポイント
市まち・ひと・しごと創生総合戦略において強調すべき点をどこに捉えるか。

A 企画財政部長 強調する点は「20〜30歳代の流出を食い止める」こと。総合戦略では特に20歳から30歳代の女性の流出を防ぐ。若者の流出を食い止めることで、高齢者を支える担い手が増えることに結び付ける戦略を立案する。



地方創生ワーキングチームによる会議



植木 弘子

高齢者福祉サービスの普及啓発の拡充を

わかりやすい普及啓発活動に努める

Q 高齢化社会に対する取り組みは

介護予防についてどのような事業を行っているのか伺う。

A 福祉部長 現在、「健やかシニア事業」では、運動教室、歯つらつ教室、介護予防通所事業（閉じこもり・認知症予防プログラム）と、「いきいきシニア事業」では、膝痛・腰痛・肩こり予防教室、いきいき健やか運動クラブ、いきいきウォーキングクラブ、シニアエンジョイクラブ、脳の健康教室、脳の元気教室、地域介護予防活動支援通所事業、シルバリーハビリ体操指導士3級養成、認知症サポーター養成など、さまざまな事業を実施している。

そのほか、社会福祉協議会や地域で自主的に取り組んでいる介護予防活動があり、保健師等が出向いて認知症予防や転倒予防などの健康教室も実施している。

また、特に認知症予防の相談が増えているので、相談体制を強化し、予防のための早期発見システムの構築に取り組んでいきたいと考えている。



いきいきウォーキング教室

Q 認知症の簡易チェックシステム
の導入について、市はどのように考えているのか。

A 福祉部長 全国で63市町村、県内では鹿島、石岡、高萩の3市で導入しており、効果はあると思われる。现阶段では、本市は福祉や保健事業その他の各種イベントにおけるPR活動の強化や、認知症予防講演会などをはじめとした市民向けの講座の実施等を進めていきたいと考えているが、今後は他市の活動状況を踏まえ、情報交換を行いながら検討していきたいと考えている。

Q 高齢者福祉サービスは、多くの内容の充実した事業が展開されているにもかかわらず認知度が低いという調査結果が出ている。認知度向上に向けて、市はどのように考えているのか伺う。

A 福祉部長 今後、各事業所の協力をいただければ広報紙等の設置等も検討していき、市民にわかりやすい普及啓発活動に努めていきたいと考えている。

○ 利用者が増えるとさらに充実したサービスにつながると思うので、ぜひ検討を願いたい。



社会福祉協議会で実施している「買い物バスツアー」は介護予防にも一役



合併10周年を迎えその評価は

課題はあるが一定の合併効果はあった

長 島 幸 男

また、体育祭、文化祭、産業祭ふるさとふれあいまつりなど旧町村単位での実施事業の一体化や市全体への拡大などにより、市民の一体感の醸成を図ってきた。市民サービスに関しては課題も残されているが一定の合併効果はあったと自己評価している。

なお、評価には行政の評価と市民の評価があるので、平成28年度の第2次総合計画策定の時期を捉えて市民の皆様のご意見をお聞きし、評価をいただきたいと考えている。

Q 合併10周年の評価は
合併の評価と、効果及び問題点、課題について伺う。

A 市長 これまで都市建設計画、市総合計画、そして私のマニフェストに基づき合併してよかったと言われるよう、市民の皆さんと協働でまちづくりに取り組んできました。

特に、本市の均衡ある発展を目指し拠点整備を進めるとともに、アークセブ道路や各地区を結ぶ主要な道路整備に取り組み一方、行財政改革に伴う補助金の適正化、組織機構の合理化や定員適正化にも取り組んできました。

現在策定中の市総合戦略「まち・ひと・しごと」に関しては総合計画を上位計画として総合計画を補完しながら強力に推進していきたいと考えている。



産業祭は毎年盛大に開催(空のえき「そ・ら・ら」にて)

Q 合併特例債の今後の活用は

A 企画財政部長 平成23年の大震災で合併特例債の発行期限が10年延長され、新市建設計画の変更を行ったことにより、平成37年度まで特例債の発行が認められている。発行限度額は建設事業費分の標準全体事業費の95%で198億8140万円と

なり、交付税措置置率も70%受けられる。有利な地方債なので積極的に活用し、幹線道路の整備事業や学校規模配置適正化事業等が進捗している状況を踏まえ、限度額まで活用することを想定している。

Q 総合支所方式の課題は

総合支所方式にした経緯と現状、今後の方向性について伺う。

A 総務部長 支所方式は、2町1村による合併協議の中で住民の皆様のご意見を踏まえ、第一に住民サービスの低下を招かないこと、第二にサービスの偏りが生じないことを念頭におき、最も適した方式として採用した。その後、事務の効率化や決裁システムの合理化などの問題もあり、一部分庁舎方式を取り入れながら現在の組織体制に至っている。

支所関係の機能の見直し等については、一部分庁舎方式を取り入れ柔軟に対応しているため、現時点で特に課題として取り上げるものはないと認識しているが、今後も社会情勢の変化を慎重に見極めながら、市の組織体制の見直しと併せ総合的に検討していきたいと考えている。



福島 ヤヨヒ

街路樹の適切な管理を

枝の剪定など適切な管理に努める



けやき通りの街路樹

Q 街路樹の管理をしっかりと

街路樹の管理はどのようにされているのか。住む人々の意見を聞き、日照の問題も含め、充分な管理を願うが。

A 都市建設部長

羽鳥地区の都市計画道路を中心に街路樹が植えられているが、それらは設置者である市が管理すべきものなので、迷惑をかけないよう適切な管理を行っていききたい。

○けやき通りにおいては、落ち葉、枝折れ、日当たりなど、困っている人の話を聞き、しっかりと検討して管理をして欲しい。

Q 18歳までの子ども医療費無料化の実現を

少子化対策として子育て世代への支援の充実を図るべく、政策の具体化が図れるよう準備を進めたい。

A 保健衛生部長

市住宅リフォーム助成制度の確立を。また災害時は如何に。

A 都市建設部長

他の自治体の実態をさらに調査検討し、より良い制度構築に向け協議していく。災害時は別制度で対応していく。

Q 市営住宅（羽鳥第2団地）の維持管理は

A 都市建設部長

これまでは大規模な修繕などは行っていないが、適切な維持管理に努め、不具合については適正な維持管理に取り組んでいきたい。

Q 公共施設等のトイレの洋式化（ウォシュレット）を

A 総務部長

公共施設の洋式化は現在5割を超えているが、うち洋式便器のみが約2割という状況なので、建物の老朽化対策と合わせ検討していく。本庁舎は耐震化と合わせ

計画中となっている。

Q 投票用紙、選挙公報が届かなかった世帯があるが対策は如何に。投票率アップのための対策はされたか。

投票用紙が届かないと言われないよう厳正、的確に取り組んでいく。公報配布は新聞折り込みだが、すべての世帯には届いていないので、しっかりと取り組みたい。啓発については、児童生徒の啓発ポスター募集や、新成人には冊子を配布している。

A 総務部長

市道の整備、特に幅員4メートル以下の生活道路の整備を願うがどのようになっているのか。

A 都市建設部長

市道整備の基準としては、舗装は幅員4メートル以上で側溝などを設置することが最低条件であるが、4メートル未満でも、危険箇所、坂道、雨等で沿線住宅や農地に悪影響があるなどの場合は、現状を勘案して区長さんをお互いに交えて、行政区に入っていない世帯でも区長さんを通じ相談してほしい。



鈴木 俊一

特色ある学校給食の提供を

地産地消など特色ある給食づくりに努めている

Q 学校給食の地産地消は
現在、学校給食において、小美玉市産の食材をどれくらい活用しているか伺う。

A 教育部長 学校給食にはできるだけ地元食材を使用するよう努め、管理栄養士が立てた献立をもとに食材を発注している。

本市では、平成24年12月から市認定農業者協議会から提供を受けた農産物を利用した献立を年間10回程度実施し、大根、ジャガイモ、ブルーベリー、ミニトマト、卵、ホウレンソウなどを提供している。今後はレンコン、ニンジン、ニラ等を提供する予定となっている。また、小美玉産のヨーグルトやコシヒカリを使用しており、地産地消に係る使用率は、食材の総品目数に対する割合目標45%に対して平成27年度は現時点で50%となっている。

Q 日常生活や地域の伝統的な行事と結びついた郷土の味覚、食文化の伝承をどのように図っているか。

A 教育部長 学校給食法では、学

校給食の目的として、我が国の伝統的な食文化の理解などが示されている。具体的には入学・卒業のお祝い献立として赤飯、5月には鯉のぼり給食、7月には七夕献立で七夕ゼリー、9月にはお月見給食、12月には冬至、クリスマスに関する献立でかぼちゃのサラダ、ケーキ、3月はひな祭り給食などの行事食を提供している。



米飯給食は小美玉市産のコシヒカリを使用

Q 給食に関して、市独自に実施している施策はあるか。

A 教育部長 独自性のある給食としては、ご飯を外注せずに、小美玉産のコシヒカリを学校給食セン

ターで炊飯し、他の自治体では週3回程度の米食を週3・8回を基本に提供している。また、さらさらヨーグルト、おみたまヨーグルトも毎月提供し、地産地消に資するともにも成長期に必要なたんぱく質やカルシウム等の補給に努めている。そのほかにも、日本の味めぐりとして都道府県の料理、世界の味めぐりとして世界の料理、セレクト給食などを提供している。

Q 給食費の保護者の負担額について、どのように考えているのか。

A 教育部長 学校給食センターが整備されたことに伴い、給食費は幼稚園、小学校が3400円、中学校、教職員が3700円に統一され、現在に至っている。

また、消費税が5%から8%に改定されたときも、他の自治体が値上げする中、本市は子育て支援の観点から値上げを見送ってきた。

本市の給食費は県内でも負担が軽い方から3番目であり、今後も子育て支援の観点から、現在の給食費が継続できるよう努力していきたいと考えている。

大学との連携で地域の活性化をどう図る

市の魅力や特産品の PR 効果に期待する



小川 賢治

Q 地域連携協定について

本市と茨城大学人文学部は、地域の発展と人材育成を図る目的で地域連携協定を結んだと報じられた。そこで学生の知恵と行動力をまちづくりに取り入れ、本市の魅力を再考したり、人的交流を促したりすることにより、地域コミュニティの活性化を図ることについて、市の所見を伺う。

A 市長公室長

協定では、①地域特性を生かした産業の振興とまちづくりの推進、②地域の発展に寄与する人材の育成、③人材交流の促進による地域コミュニティの活性化、④地域の政策課題に関する共同研究、⑤その他の地域連携推進に必要な事項の5項目の事業連携を掲げ、共同事業や共同研究を実施することにより、地域が抱える課題や行政課題に対応していきたいと考えている。

具体的には、茨城大学と共催の地方創生シンポジウムの開催や、茨城大学に留学している中国留学生と連携し、中国国内で運営されている旅行ブログアプリを利用した本市の情報を発信する事業を検

討しており、市の魅力や特産品を中国国内でPRし、本市への誘客につなげればと考えている。

大学との事業連携は大学に集積する知識や情報のノウハウが生かされることや、地域で不足する若い人材の活用、地域の活性化など市にとって多くのメリットがあるので、この連携を短期間で終わらせず継続することでより大きな成果につなげていきたい。

Q 地方創生について

総合戦略の中で企業誘致については、現在石岡小美玉スマートインターから整備が計画されている茨城空港までの県道、経済の活性化、雇用の創出という面から、この沿線に企業を誘致してはと考えるが、市の構想は。

A 企画財政部長

茨城空港から常磐自動車道石岡小美玉スマートインターへの計画路線は、都市整備構想や現在作成中の総合戦略の中で重要な路線と位置づけており、関係機関と横断的な協議をしながら今後企業誘致についても検討していきたい。

総合戦略の中での空き家の活用はどうなっているか。

A 企画財政部長

従来の空き家対策と異なる角度から検討している。また、空き店舗、空き家を改装するための資金調達のため、低金利の銀行融資が受けられるような仕組みを検討している。



計画路線は現在作成中



幡谷好文

防災管理対策は万全か

全ての災害を想定し、訓練等を行う

Q 防災管理対策は

東日本大震災や関東東北豪雨など、ここ数年想定外の災害が起きています。そこで、日ごろからの防災対策が大事と思われるが①市の災害対策の現況は。②常総市での災害から本市でも学ぶところが多くあるのではないかと。③予想外の災害を考慮した対策をさらに盛り込むべきではないかと。の3点について伺う。

A 危機管理監

①防災・減災には、まず情報の収集と市民への迅速な情報発信が重要なので、情報の伝達手段として、防災行政無線をはじめ、広報車、Lアラート、メール配信サービス、電話応答サービスなど複数整えている。また、連絡・通信手段として、携帯型無線機、車載型無線機、全ての避難所に集落可搬型無線機を整備、さらに衛星電話も保有し、一般の電話回線が不通となっても相互連絡ができる体制を整えている。さらに、自力での災害対応が困難な場合には、県及び県内市町村への迅速な応援要請をとることや国の災害支援制度（通称・リエゾン）の活用も考えている。

②被災者や避難所に対する円滑な

ボランティアの派遣と、大量の救済物資の仕分けや配給の方法など多くの課題が浮き彫りにされた。本市としても、災害発生時のボランティア活動の受け入れ窓口となる社会福祉協議会やボランティア団体が円滑に活動できるように体制強化を図ってきたい。

③さまざまな災害を想定した訓練やシミュレーションなどの強化を図り、なお一層災害に強いまちづくりを目指していきたい。

Q 福祉行政について

福祉に対するニーズの拡大に伴い、土・日曜等のサービス業務は行き届いているのか伺う。

A 福祉部長

社会福祉協議会のヘルパーセンターの営業日は月曜から金曜日（祝日及び12月29日から1月3日は除く）の午前8時30分から午後5時15分までとなっているが、土日や祝日、午前7時から午後9時までの営業時間外であっても利用者からの要請があれば連絡可能な体制をとり、応じている。現状は、土日、祝祭日にサービスの必要な方にはケアマネジャーからの要請により相談

のうえ、訪問している。

また、病院の送迎、生活必需品の買い物、食事の支度、世話等のサービスを行う在宅福祉サービスセンター事業については、月曜から土曜日（12月28日から1月5日を除く）の午前9時から午後5時までとなっているが、市民同士の助け合いによる協力会員によりサービスの提供を行っている。

Q 少子化対策について

第一子誕生のお祝い制度をつくるべきではと考えるが、市の見解を伺う。

A 福祉部長

現在、市では中学3年生までの医療費の無料化や、七つのお祝いの記念品としてランドセルの贈呈を行っている。今後も本市の少子化対策として効果的な検討を進めていきたい。

○第一子誕生の記念品として赤ちゃん布団セットを差し上げるのもいいのではないかと。





戸田 見成

基地周辺のさらなる生活環境改善を

今後も真摯に基地周辺対策に取り組む

Q 百里基地と周辺について

騒音で住民が苦しんで生活している。この地域を日本に譬えれば「沖縄同様取り残され、将来に希望が持てない」、行政は如何様に考えているのか。

A 都市建設部長 基地周辺にお住まい

の方は日常的な航空機の騒音により大変煩わしい思いをしながらも、百里基地が首都圏防衛の要となる重要な基地としてご理解ご協力をいただいていることに深く感謝している。

そうした中、国の措置により、住宅防音工事、空調機能復旧工事及び防音建具機能復旧工事などの騒音対策や、交付金事業等による道路改良、地区公民館建設、防犯灯設置等を実施し、生活環境の改善に努めている。また、市でも百里飛行場周辺整備協議会を受け皿として独自に年額補助金5540万円を拠出し、テレビ映像障害対策としてNHK放送受信料の半額助成や、電話難聴対策として固定電話契約世帯に1万または2万円の助成のほか、地区運営費の助成を行い、有効活用いただいている。

今後はこれらの措置を継続するとともに、国にはさらなる騒音対策を講じ

るよう強く要請しながら、皆さまの声を真摯にお伺いし基地周辺対策に取り組んでいくのでご理解をお願いしたい。

Q 地方創生と人口減について

今後約20年もすれば小美玉市は衰退し、自治体消滅可能性が懸念されると言われているが、如何か。

A 福祉部長 結婚から育児まで切れ

目のない支援を行い、特に子育て世帯に配慮した保育環境の充実、経済的負担の軽減、安心して産み育てることができる環境整備などきめ細かな施策、支援を検討していく。

A 教育部長 人口減少対策には、

ハード面、ソフト面の両面が重要と認識しており、現在、学校規模配置適正化実施計画に基づき、統合校の建設や小中一貫校の建設など、子どもたちの学習環境を図っている。また、放課後子どもプラン、幼稚園での一時預かり事業や就学援助費の支給、奨学金の貸与等を実施している。さらに、子ども・子育て新制度の施行にあたり、私立幼稚園、認定こども園の保育料を近隣の自治体で最も負担の少ない設定とした。

今後も、より子育てしやすい条件整備のための施策について「子ども・子育て会議」等で審議・調査していきたい。

Q ごみ処理場の広域化に対する地元対策は

ごみ処理場を設置予定の小美玉市高崎地区に対して、どのような環境整備と地域福祉対策の向上を図るのか。

A 市民生活部長 地元対策は、特に

道路環境や余熱還元施設等について、霞台厚生施設組合及び4市町の調整会議及び同施設正副管理者会議で、4市町で財源を負担し整備することで理解を得ている。

今後、基本構想のバブリックコメントの実施、平成28年度からは施設整備の具現化に向けた基本計画の策定を予定しているため、施設を引き受ける当市として、地元住民のご意見、市民の意向等について引き続き提案し、調整検討していきたいと考えているのでご理解いただきたい。

【その他の質問事項】

①企業誘致について（現状と実績）②栗又四ヶ線について（現状とこれから）③市営住宅について（現状とこれから）④合併10年をどう捉えているか⑤そららについて（運営方針の変更はあったのか、レストラン事業の変遷と方向性）

第38回プレゼントクイズ

*答えは議会広報第40号の中にあります。

問題は3つです。答えを書いて、下記の応募方法によりお送りください。正解した方の中から抽選で10名の方に、粗品をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています。

- 問① 定例会（本会議）の同時放映TVモニターは本庁舎と〇〇総合支所と〇〇総合支所で視聴できる？
 問② 学校給食の米飯には小美玉産の〇〇〇〇〇を使用している？
 問③ 平成28年第1回定例会の開会日は3月〇日？

◇応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、住所・氏名・クイズの答えを明記してご応募ください。
 また、議会や本紙に対するご意見やご感想を併せてお寄せください。

◇応募〆切

平成28年2月26日（金）まで *当日消印有効

◇応募先

〒319-0192 小美玉市堅倉835 “小美玉市役所 議会事務局”宛

FAX：0299-48-1199 Eメール：gikai@city.omitama.lg.jp

☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用いたしません。

第37回クイズの当選者

26通のご応募をいただきました。
 当選者は以下の方々です。

菅谷 美津子さん	沢上 恵里さん
茅場 真理子さん	石川 裕美さん
鬼澤 チヨさん	宮内 幸雄さん
八文字 善一さん	泉 利樹さん
倉持 富三さん	川崎 昭子さん

第37回クイズの正解

問① 市議会議員の定数は？

[答 → 20人]

問② 平成26年度の実質公債費比率は？

[答 → 7.3%]

問③ 12月定例会の開会日は？

[答 → 1日]

皆さんから寄せられた声です

～クイズ応募者、傍聴者の方から寄せられた声を掲載しています～

- ▶ 議会報告、興味深く読ませていただいています。市議選後20名の議員さんには手を取り合ってより良い安心出来る市政に尽力していただきたいと願っています。(羽鳥・女性)
- ▶ 議員のみなさんには活気のある市をつくってもらいたいと思います。もっと議会を身近に感じられるように足を運びたいと思います。(群馬県・女性)
- ▶ 議会広報にプレゼントクイズがあるのはすごいアイデアです。女性の方は議会と聞いただけで堅いお話を敬遠しがちですが、クイズには興味を持ちます。答を調べるために広報を読みます。そこでいろいろな事を知ると、審議会の計画や議員さんのご苦勞にもふれ、自分のためにも良い勉強です。
 (野田・女性)
- ▶ 災害に強いまちづくりを徹底してほしいです。(堅倉・男性)
- ▶ いつも楽しく読ませていただいています。小美玉市のビックイベント、百里基地航空祭も無事に終了しましたね。市内はもとより、市外、県外からも沢山の皆さんが楽しめたら幸いです。(百里・男性)

ご意見・ご感想をお待ちしています

◆ 次の定例会は3月です！ぜひ傍聴にお越しください。

定例会 日 程	会議等の主な内容	傍 聴	
		可 否	モニタ 中 継
3月2日 (水)	本会議 (開会、議案説明)	可	有
8日 (火)	本会議(～9日) (一般質問、議案質疑)	可	有
11・14日 (金・月)	予算特別委員会	要確認	無
15日 (火)	常任委員会(～18日)	要確認	無
23日 (水)	本会議 (報告、採決、閉会)	可	有

* 議場は市役所本庁舎の3階にあります。議場内での傍聴には簡単な受付(氏名・住所等の記入)が必要です。

* 定例会中の本会議(一般質問など)は、同時放映を行っておりますので、小川総合支所、玉里総合支所に設置されているTVモニターでもご自由にご覧いただけます。(受付は不要)

* 委員会等の詳しい日程については、3月1日に開催する議会運営委員会で協議します。(市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください)

「会議録検索システム」をご利用ください！

◆ 市議会のホームページから会議録を簡単に閲覧・検索できます。
小美玉市議会ホームページの「会議録の閲覧・検索」をクリックすると下の検索画面に移ります。日付やキーワードを入力して簡単に検索することができます。ぜひ、議会で何が議論されているかご覧ください。

かんたん検索
* 検索したいキーワードを入力し、検索ボタンをクリックしてください。

小美玉市議会
— 会議録の検索と閲覧 —
Omitama City Council Web

詳しく探す
発言者とキーワードから検索します

発言者から探す
議員や答弁者から検索します

会議録を閲覧する
目次から会議録を閲覧します

発言集作成
指定した発言者の発言集を作成します

最新の会議録を閲覧する

定例会

- 平成27年 9月 定例会(第3回)
- 平成27年 6月 定例会(第2回)
- 平成27年 3月 定例会(第1回)

ここに気になるキーワードを入力して検索ボタンをクリック！
簡単に会議録が検索できます。

編集後記

昨年11月の選挙で負託を受けた20名の議員のもと改選後初の定例会が開催されました。議員各々、皆様から託されました任期を選挙の時に訴えた主義主張・公約に基づき活動を展開してまいります。

さて、市政を「花」に例えるならば、議会全体は「茎」、一人一人の議員は四方八方に伸びた「根」です。市政発展という「大輪」を咲かせるには、20本の「根」が多様な民意という養分を吸収し、それを「茎」で凝縮させ「蕾」へと送り続けなければなりません。

20名の議員が、吸い上げた民意を持ち寄り、議員全員でこれを集約し、議会全体が住民の代表として民意の反映に努める。

議会の根底を為すものは「より良い小美玉市をつくる」執行する側とチェックする側、目指すところは一つです。

(谷仲和雄)

発行編集責任者 市長 市村 文男
議 長 市村 文男
広報特別委員会
委員長 大槻 良明
副委員長 谷仲 和雄
委員 小川 賢治
幡谷 好文
石井 弘子
植木 春樹
村田